

(様式1) 実践事例

学校名	福島県伊達市立伊達中学校	校長名	佐藤 敏意		
住所	福島県伊達市箱崎字沖 110 番地	生徒数	377 人	学級数	15
TEL	024-583-3025	ホームページアドレス	http://www.date-j.fks.ed.jp/		

生徒一人一人に確かな学力の定着を図るために
～ 数学科における T・T の指導を通して ～

- 1 少人数指導 (ティーム・ティーチング) の方針・計画
- (1) 数学科において、すべての学年で、週 1 時間ずつ時間割に固定して、T・T による指導を行う。
 - (2) 生徒の実態を的確に捉え、数学科担当者と学年担当者 (数学科以外) の特性を生かし、確かな学力の定着を図るための指導内容・方法等の在り方を追究する。
 - (3) 授業における教師の役割や生徒との関わりを明確にししながら、授業を進める。
 - (4) 教師が互いに知恵を出し合い、授業の工夫改善を通して、生徒のみならず教師自身が成長する T・T を目指す。

2 実践の概要

- (1) 生徒一人一人の実態を把握するとともに、打合せの時間を確保し、共通理解を図り、工夫改善しながら指導を進める。特に、基礎的基本的な内容の定着やアンダーアチーバーの生徒への個別指導を重視して進めている。
- (2) ねらいや手立て、指導内容・指導方法等との関連から、T1 と T2 の役割分担を明確にするとともに、反省を次の授業に生かしながら進めている。
- (3) T1, T2 とも自信や自己肯定感をもたせるアドバイスに努め、生徒一人一人の意欲を刺激する個別指導に心掛けている。
- (4) 生徒のつぶやきを拾い上げたり、机間指導で生徒の考えをつかみ、意図的な指名を行ったり、柔軟な授業展開をしたりしている。



実践例 **数学的活動の楽しさを味わわせる学習課題の工夫**

～連立方程式の解き方(2年)～

りんご 2 個とみかん 5 個の代金は、520 円	… ①
りんご 2 個とみかん 3 個の代金は、400 円	… ②
みかん 1 個の値段は何円ですか。	

I シェーマ図の利用

$\bigcirc\bigcirc + \bullet\bullet\bullet\bullet = 520$	… ①
$-\bigcirc\bigcirc + \bullet\bullet\bullet = 400$	… ②
$\bullet\bullet = 120$	
$\bullet = 60$	

II 数式の利用

$2x + 5y = 520$	… ①
$-\quad 2x + 3y = 400$	… ②
$\quad\quad 2y = 120$	
$\quad\quad\quad y = 60$	

III 連立方程式を解くには … 文字の消去

- ※ りんごを○、みかんを●で表す。
- ※ 一人一人にじっくり考えさせる時間を確保する。
- ※ T1, T2 は分担をして、ヒントを与えたり、励ましたり、賞賛したりする。
- ※ シェーマ図と比較させ、数式の利用へとつなぐ。
- ※ ○やxがなくなっていることに気付かせる。

3 実践の成果と課題

- T・T の役割分担を明確にし、基礎的基本的な内容の定着やアンダーアチーバーの生徒への個別指導を重視して進めた成果が、中間テストの成績に表れていた。
- 教師個々の特性が相乗効果をもたらし、学習効果を高めているとともに、生徒は T・T による指導を好意的に受け入れている。
- 打合せの時間を時間割に固定するなど十分確保し、T1, T2 がさらに共通理解を図って、授業に臨む態勢を整えていく必要がある。